

2015年11月12日

2016年3月期 第2四半期

(2015年4月～2015年9月)

# 連結決算説明資料

株式会社MCJ

東証第2部:6670

## 連結業績サマリー

## 前期比では減収減益となるも、減少幅は期初予想の範囲内で推移

## 累計期間（4～9月）

- 第1四半期における「Windows XP」買い替え特需の反動減の影響が大きく、前年比では売上・各利益ともに減少
- 但し、反動減の影響は織り込み済であり、業績は期初予想を上回る順調な進捗

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	前年 同四半期比
売上高	50,803	49,311	- 2.9%
営業利益	3,003	2,395	- 20.2%
経常利益	2,975	2,286	- 23.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,953	1,393	- 28.7%

(単位: 百万円)

## 会計期間（7～9月）

- マーケットのニーズに応じて製商品やサービスの提供を機動的に行った結果、単四半期では四半期純利益を除き増収増益
- 投資有価証券評価損(非連結子会社分)として特別損失を計上

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	前年 同四半期比
売上高	23,501	24,766	+ 5.4%
営業利益	1,071	1,245	+ 16.2%
経常利益	962	1,127	+ 17.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	636	625	- 1.8%

(単位: 百万円)

## 連結業績予想比

## 第2四半期予想を上方修正し、通期予想に対しても概ね順調に進捗

	2016年3月期 第2四半期 実績	2016年3月期 第2四半期 期初予想	達成率	2016年3月期 通期 期初予想	進捗率
売上高	49,311	46,987	104.9%	100,411	49.1%
営業利益	2,395	1,829	130.9%	4,567	52.4%
経常利益	2,286	1,829	125.0%	4,568	50.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,393	1,239	112.4%	3,045	45.7%

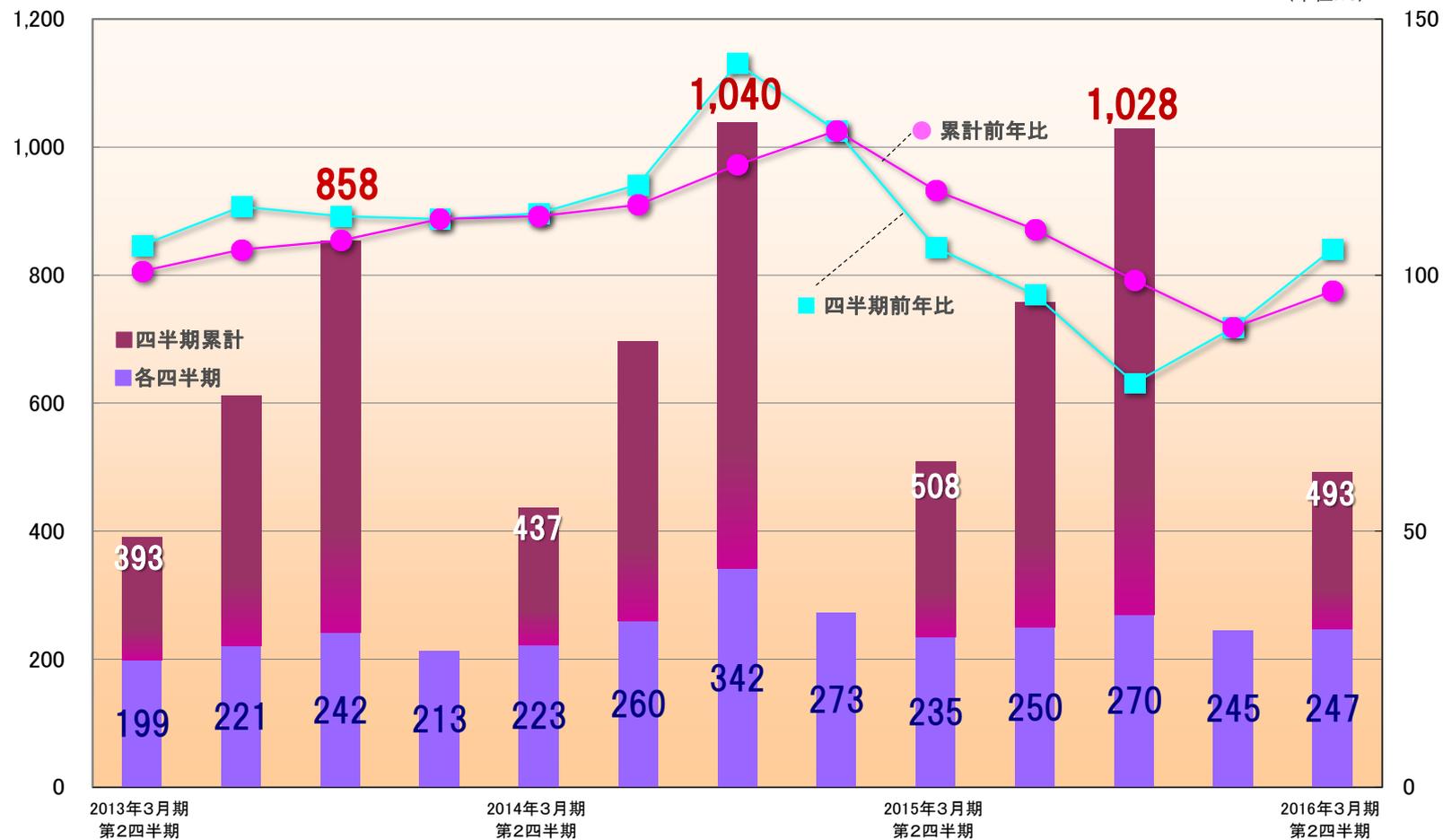
(単位: 百万円)

連結売上高推移

単四半期ベースでは前年実績を上回り、回復基調に

連結売上高  
(単位:億円)

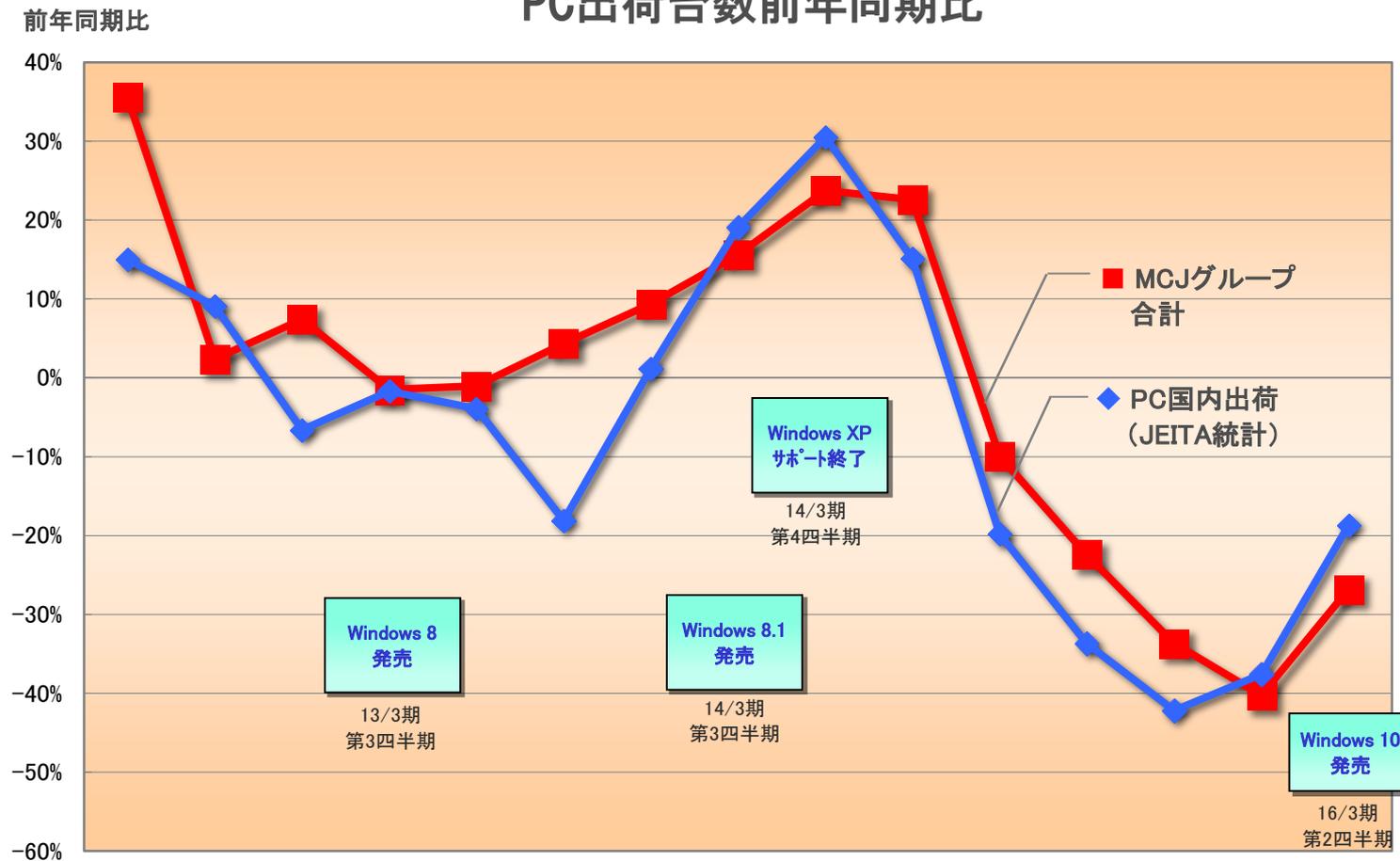
前年同四半期比  
(単位:%)



PC出荷台数

市場全体・当社グループともに前期比では減少幅が縮小

PC出荷台数前年同期比



※上記グラフは、四半期(会計期間)ごとの出荷実績を比較したものです。

## 連結業績前年比

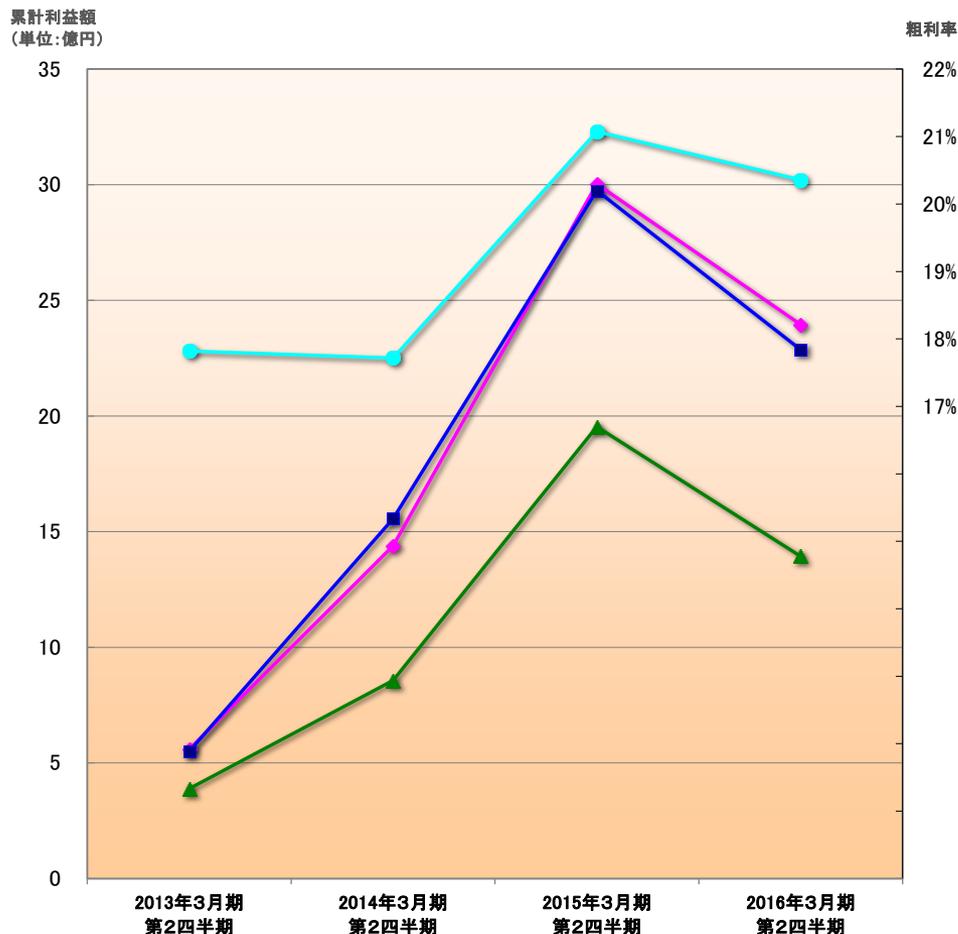
## 粗利率の低下により各利益率も減少

	2015年3月期 第2四半期		2016年3月期 第2四半期		前年同四半期比 増減	
	金額	売上対比	金額	売上対比	金額	売上対比
売上高	50,803	100.0%	49,311	100.0%	△ 1,492	—
売上原価	40,097	78.9%	39,272	79.6%	△ 825	+ 0.7%
売上総利益	10,705	21.1%	10,038	20.4%	△ 667	- 0.7%
販管費	7,702	15.2%	7,643	15.5%	△ 59	+ 0.3%
営業利益	3,003	5.9%	2,395	4.9%	△ 607	- 1.1%
経常利益	2,975	5.9%	2,286	4.6%	△ 688	- 1.2%
税引前純利益	2,951	5.8%	2,155	4.4%	△ 795	- 1.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,953	3.8%	1,393	2.8%	△ 560	- 1.0%

(単位:百万円)

連結利益推移

市場が落ち込む中で営業・経常利益共に20億円超を達成



**粗利率 20.4%**

■ ドル高による仕入価格上昇等の影響により、粗利率は前期比で0.7%低下するも、20%を超える水準を確保

**営業利益 23.9億円**

■ 減収及び粗利率の低下による粗利減  
 ■ 販管費率は前年比で0.3ポイント上昇するも、総じて抑制された水準

**経常利益 22.8億円**

■ 主な営業外収益は受取利息と受取手数料  
 ■ ユーロ安の影響等により1.48億円の為替差損が発生

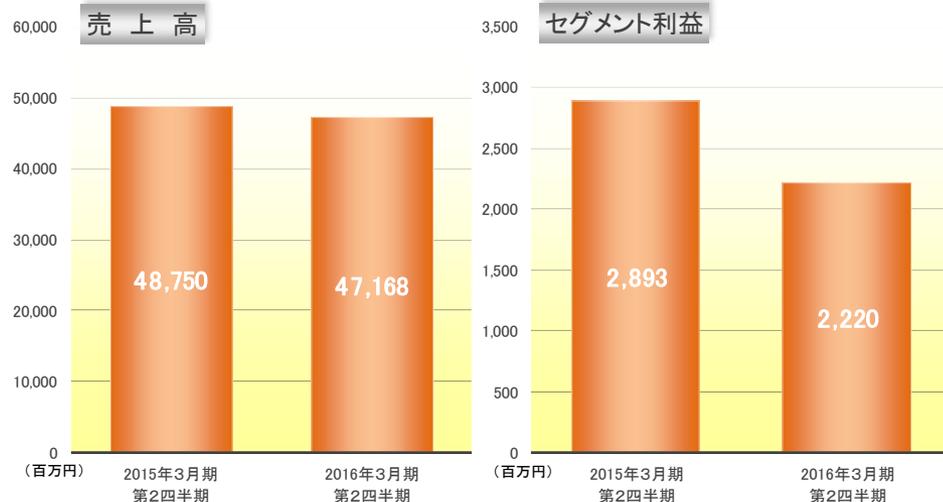
**親会社株式に帰属する四半期純利益 13.9億円**

■ 投資有価証券評価損として1.19億円の特別損失を計上(非連結子会社分)

セグメント情報

PC市場全体の落ち込みの影響が続く

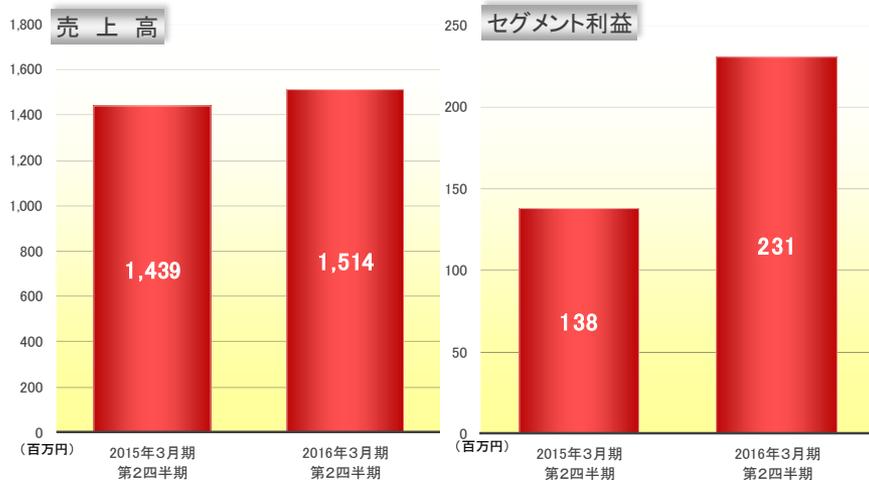
■ パソコン関連事業



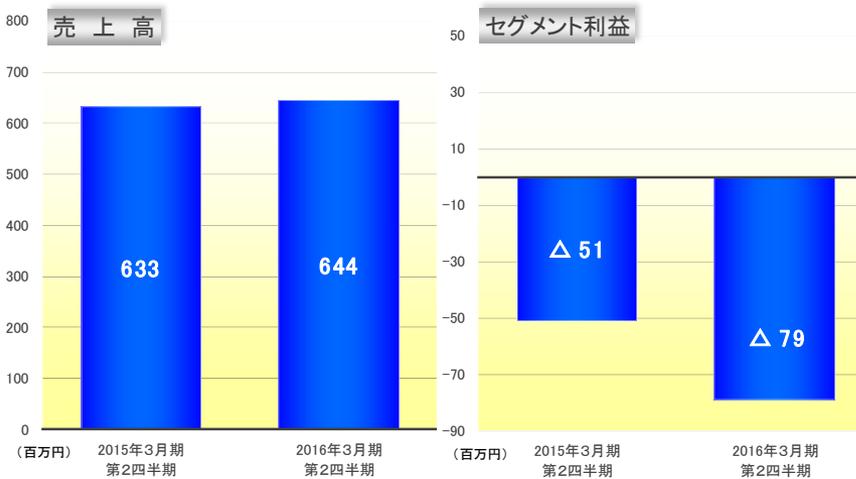
主な要因

- Windows XP特需の反動減による市場全体の落ち込みの影響を受け減収減益
- 小売部門においては中古リユースやサポートサービスに関する利益寄与や販管費の削減で回復基調
- モニタの欧州販売は、汎用モニタ、産業用タッチパネルモニタ、デジタルサイネージ製品が総じて伸長

■ 総合エンターテインメント事業



■ ICT関連事業



## 業績予想

## 第2四半期予想を上方修正するも、通期予想は据え置き

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
第 2 四 半 期	49,311	2,395	2,286	1,393
売 上 高 比 率	-	4.9%	4.6%	2.8%
対 前 年 同 期 率 増 減 率	△2.9%	△20.2%	△23.2%	△28.7%
通 期 予 想	100,411	4,567	4,568	3,045
売 上 高 比 率	-	4.5%	4.5%	3.0%
( 参 考 ) 前 期	102,889	5,068	5,217	2,627

(単位:百万円)

## 配当予想

## 通期予想の据え置きにより、配当予想も据え置き

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期 (予定)
年間1株当たり 配 当 金	5円46銭	10円00銭	12円53銭
配 当 性 向	15.0%	18.6%	20.0% (※)

※平成27年5月11日付取締役会決議に基づき、配当性向の基準を「親会社株主に帰属する当期純利益」の15%から20%へと変更しております。

## ■本資料取扱上のご注意

本資料に記載された業績予想および将来予測は、作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断・記載したものであり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、未監査であり、その内容の正確性及び確実性を保証し、または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行っていただきますようお願いいたします。

本資料及びデータの無断転用・転載等をご遠慮ください。

## 【お問合せ先】

IR担当

TEL: 03-6739-3991